「東海地区創薬支援研究交流会 2015」のご案内

日本医療研究開発機構（AMED）が推進する「創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業」に参画する中部東海地方の４大学８研究室のうち７研究室が一堂に会して、最新の研究内容ならびに創薬支援の技術解説を行う「研究交流会」を企画いたしました。なお、それぞれの研究室の大学院への進学に興味のある学生の皆様には、各大学院の説明も併せて行います。皆様、ふるってご参加ください。

記

日時　　平成２７年６月１３日（土）　　１３時～１７時

場所　　イオンコンパス名古屋駅前会議室５階　RoomA

（名古屋市中村区椿町１８－２２　ロータスビル５階）

参加費　無料

参加お申し込み方法　会場設営の都合上、お手数ですが下記メールアドレスまで事前登録をお願い致します。尚、当日の参加登録も可能です。

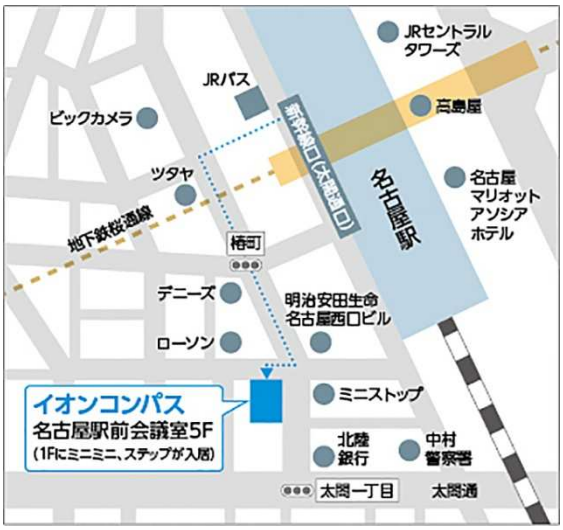
事前登録メールアドレス：nagoyapf2015@yahoo.co.jp

＊参加者のご氏名及びご所属をご記入お願い致します。

＊事前登録締め切りは 6 月 11 日とさせていただきます。

会場アクセス

JR「名古屋駅」新幹線口（太閤通口）より徒歩３分



発起人：名古屋大学　廣明秀一・太田元規、長浜バイオ大学　白井剛

共催：創薬等支援技術基盤プラットフォーム

プログラム

12:30～	受付開始
13:00～	ご挨拶
13:05～	招待講演 京都大学 iPS 細胞研究所 ゲノム･エピゲノム解析コアファシリティ グループリーダー　渡辺　亮　先生 「シングルセル遺伝子解析で明らかにする細胞運命：次世代創薬研究として」
14:15～14:30	休憩
14:30～	創薬等支援技術基盤プラットフォームのご紹介 第一部［予測する創薬プラットフォーム］
	名古屋大学大学院情報科学研究科　太田元規 構造バイオインフォマティクス･リテラシーの浸化と深化
	長浜バイオ大学コンピュータバイオサイエンス学科　白井　剛 超分子モデリングパイプラインの構築
	名古屋大学大学院工学研究科　千見寺浄慈 化合物-タンパク質複合体構造情報を用いたインシリコスクリーニング法の開発
15:20～15:30	休憩
15:30～	第二部［作る創薬プラットフォーム］
	名古屋市立大学大学院薬学研究科　樋口恒彦 C-H 結合活性化を活用する独創的リード化合物高度化
	名古屋大学大学院創薬科学研究科　横島　聡 分子触媒開発と天然物の全合成を基盤とする創薬化学研究
	第三部［検証する創薬プラットフォーム］
	名古屋大学大学院創薬科学研究科 名古屋大学理学研究科附属構造生物学研究センター　廣明秀一 蛋白質-薬剤相互作用の新規 NMR 検出技術の創薬基盤研究への応用
	名古屋大学大学院創薬科学研究科 名古屋大学細胞生理学研究センター　大嶋篤典 多様な顕微鏡技術による膜タンパク質複合体の多階層での機能構造研究
16:35～	意見交換会
17:00～	閉会